

本部広報2021-041

2022年2月22日

猫がクルマに入り込んでしまったトラブル1カ月で21件！

2月22日の猫の日に、猫に関するトラブルへの注意喚起を実施

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 藤井一裕）は猫の日である2月22日（火）、1月1日（土）～31日（月）にかけて発生した“猫がクルマに入り込んだことによるトラブル”の救援要請件数を発表いたしました。

■“エンジンルームに猫”1カ月で21件！そのうち11件はエンジン始動後に発覚

1月1日（土）～1月31日（月）の1カ月間でドライバーから「エンジンルームに猫が入り込んでしまった」とロードサービスを要請いただいた件数は全国で21件ありました。このうち、エンジン始動後に気づき救援要請されたと明確にわかるものは11件ありました。

猫が入り込んでいることに気づかずエンジンをかけてしまうとエンジンベルトなどに巻き込まれる場合があります。猫が命の危険にさらされるのはもちろんのこと、車の故障（ベルトの切れ、外れなど）にもつながります。猫の命を守るためにも、乗車の前はボンネットなどエンジンルーム付近をやさしく叩くことを実践しましょう。

なお、ボンネットを叩くいわゆる“猫ばんばん”は有効ですが、万能ではありません。叩いて出てくるかは個猫差があります。叩いたあと猫の声や気配を感じたらボンネットを開け、中まで確認してください。

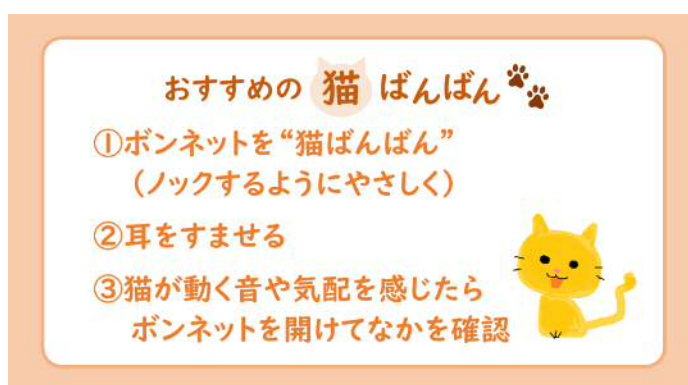
■入り込む理由は“暖かいから”だけじゃない！暖冬でも救援要請

寒い冬に暖かい場所を求めてエンジンルームに入り込むと思われがちですが、JAFには1年を通して猫がクルマに入り込むトラブルの救援要請があります。猫は暖かい場所だけでなく狭い場所も好みます。駐車しているクルマのエンジンルームは風雨が入りにくく暗く狭い空間で、警戒心の強い猫にとっては安心できるようです。冬場に限らずご注意ください。とくに子猫は小さな体ですきまに入り込みやすいので、子猫が生まれる季節も注意が必要です。

【参考】

- ・クルマ何でも質問箱「猫がエンジンルームに入ることを知っていますか？」

<https://jaf.or.jp/common/kuruma-qa/category-trouble/subcategory-prevention/faq256>



2021年にJAF公式Twitterで投稿したおすすめの「猫ばんばん」
ボンネットを叩くだけでなく、反応した音がしないか耳をすませましょう。

一般社団法人 日本自動車連盟 広報部

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912 Mail : koho@jaf.or.jp URL : <https://jaf.or.jp/>
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館